

平成31年第3回大川市教育委員会（定例会）会議録

平成31年2月22日、大川市役所第3委員会室において、平成31年第3回教育委員会（定例会）を開催した。出席者及び会議の経過並びに結果は次のとおりである。

1. 開会及び閉会に関する事項

開会 15時00分

閉会 15時30分

2. 出席委員の氏名

教育長 記伊 哲也

委員 谷川 朋昭

委員 一ノ瀬直子

委員 蔵本美保子

3. 欠席委員

委員 惠崎 浩則

4. 事務局等の出席者

学校教育課長 石橋 正隆

学校教育課主幹 古賀美保理

生涯学習課長 岡 辰磨

学校教育課長補佐 本田 龍雄

生涯学習課長補佐 岡 美詠子

記録者・学校教育課総務係 永島 潤一

5. 傍聴者

なし

6. 付議案件

審議事項

(1) 議案第3号 平成30年度大川市一般会計補正予算について

報告事項

(1) 臨時職員等の任用について

7. 教育長の挨拶の要旨

(1) 3月定例市議会について

確定ではないが、予算が2年連続で過去最高となる見込み。学校再編がある教育委員会はその中でも一番の花形。職員はその自信と誇りを持って取り組んでいく。

(2) 管内教育長会議の報告について

① 重点目標について

小中連携による授業改善、カリキュラムマネジメント、コミュニティスクールの推進、問題行動に対する組織的な対応の4点を挙げられた。

小中連携による授業改善については、当市にとっては当たり前かもしれないが、他自治体ではそうでもないということであった。

カリキュラムマネジメントについては、小学校はそうでもないが、中学校はまだまだ弱い。小学校であれば、国語が弱ければ国語に時間を多く使うなど、余剰時間を有効活用できるが、中学校は教科ごとであるため難しく、マネジメントが上手くできていない。

コミュニティスクールの推進について、他市は意外と進んでいない。推進と充実を図ってほしいとのことであった。

問題行動に対する組織的な対応については、新規採用職員が増えているということもあり、いじめや不登校への対応を個人とするのではなく、組織的な対応を徹底してほしいとのこと。

② 社会教育課からの報告について

地域活動指導員への報酬について、市費で上乗せをしていない市については、県からの補助金の額を引き下げるといった話があった。市費で上乗せをしている場合は下げないとのこと。地域活動指導員の処遇改善のため、市費からも報酬を出してほしいということであろう。当市は地域活動指導員の報酬が低い。

また、社会教育主事の講習を受ける人が非常に少なくなっているため、市の職員も含めて受けてほしいとのこと。

8. 議事の概要

審議事項	(1) 議案第3号 平成30年度大川市一般会計補正予算について
委員	平成31年度の中学校の工事費の中で、消費税の税率変更による増額はわかるが、それ以外で増加した2億円の要因は何か。
事務局	<p>桐英中学校の体育館については、当初基本設計でおおよその建設費を出していたが、先生方と協議の結果、基本設計よりも体育館の面積を広くした。そのことが増額の要因のひとつ。</p> <p>また、桐英中学校の方が桐薫中学校に比べてコンパクトに作る分手間がかかる他、電源設備など、大川小学校と切り離しができない部分があり、そこも合わせて更新をする必要がある。</p> <p>その他では、原材料費や人件費の高騰等が要因となっている。</p>
<p>《採決》 全員挙手により原案のとおり承認</p>	
報告事項	(1) 臨時職員等の任用について
<p>質問・意見等なし</p>	